

第43回熊本市中学生軟式野球大会要項

- 1 目的 青少年スポーツ振興施策の一環として、スポーツ技能の向上を図るとともに、生徒相互の親睦交流を図る。
- 2 主催 熊本市、熊本市軟式野球連盟
- 3 期 日 令和4年（2022年）8月27日（土）～10月の土・日・祝日開催（第一日曜日を除く）
※新型コロナウイルス感染拡大等で、大会を中止する場合もある。
- 4 会 場 市内各グラウンド
- 5 参加資格 (1) 熊本市内の中学校に在籍する生徒で編成されていること。
(2) 令和4年（2022年度）熊本市軟式野球連盟に登録しているチームであること。
(3) A・Bチームの監督、コーチの二重登録は認めない。
※例）Aチームの監督がBチームのコーチへの登録は可。
(4) 参加チームは、必ずスポーツ傷害保険に加入していること。
- 6 チーム編成 (1) 部長1人、監督1人、コーチ2人以内、選手20人以内。チーム代表者、マネージャー、スコアラー各1名とする。※熱中症対策として保護者2名をベンチに入れることができる。
(2) 2年生が2人以上いるチームは、A・Bチームで登録して出場できる。2チームの編成は、A・Bチームとも常時5名以上の2年生が試合に出場していること。
(3) 単一学校チームで総部員が8人以下の場合は、近隣と同条件の学校や総部員9人以上の学校との合同、もしくは部員数の多い学校からの補員協力による合同として出場することを認める。ただし、合同で出場する学校が単一チームでも参加する場合は1チームのみとする。合同で出場するチームの選手は各学校のユニフォームを着用してもよい。
- 7 使用球 公認ケンコーM号ボール
- 8 試合方法 (1) トーナメント法による。
(2) 試合は7回戦とする。
(3) 試合時間は、1時間30分より新しいイニングに入らない。
※ 決勝戦は、2時間30分より新しいイニングに入らない。
(4) 7回完了もしくは、制限時間に達しても同点の場合は、タイブレーク方式を最大2回まで行う。
※ タイブレーク方式は無死一、二塁、継続打順で、走者はその打者の前位の打者とする。決着がつかないときは、出場選手9名の抽選で勝敗を決定する。
※ 決勝戦は、投手の投球制限を遵守の上、勝敗が決するまで続行する。
(5) 5回以降7点差の場合は、コールドゲームとする。
※ 決勝戦はコールドゲームを5回以降10点差の場合適用する。
(6) 守備側のタイムは1試合に3回以内とする。なお、タイブレーク戦は1イニングに1回行くことができる。
(7) 攻撃側のタイムは1試合に3回以内とする。なお、タイブレーク戦は1イニングに1回行くことができる。
※ (6)、(7)とも相手側チームのタイム中の指示はカウントしない。ただし、タイムチームより時間が長い場合は、1カウントとなる。
※ 代打の通告と投手交代の場合は、回数にカウントしない。
(8) 投手の投球制限については、健康維持を考慮し、1人1日100球までとする。
試合中に100球に達した場合、その打者の攻撃中に攻守交代となるか、打撃を完了するまで投球できる。
(9) 試合開始予定時刻前でも前の試合が終了した後20分で次の試合を開始する。
試合時間になっても会場に来ないチームは、原則として棄権とみなす。
(10) ヘルメット(SGマーク入り)、レガース、プロテクター、金属バットは全軟公認のものに限る。
(11) 捕手用マスク(SGマーク入り)には、スロートガードをつけること。

- 9 参加申込 令和4年(2022年)7月20日(水)までに参加申込書を提出すること。
提出先:熊本市スポーツ振興課(熊本市役所8階)担当:奥村 真太郎
庁内メール(市立学校のみ)、FAX、郵送、持参にて提出すること。
※参加申込書提出後の登録選手変更は、7月28日(木)まで受け付ける。
- 10 開会式兼代表者会議(抽選会)
主催者による代理抽選を行う。
組み合わせは、8月上旬頃、熊本市及び市軟野連ホームページに掲載する。
- 11 表彰 優勝・・・優勝旗、優勝メダル、賞状
準優勝・・・準優勝杯、準優勝メダル、賞状
第3位・・・賞状
- 12 審判 熊本市軟式野球連盟公認審判員
原則として3回戦までは、各チームで塁審2名(審判講習会受講者)を協力すること。対戦中は、投球数
掲示員1名を当該チームより協力すること。
- 13 規則 2022年度全日本軟式野球連盟規則並びに少年野球に関する取り決め事項を適用する。
- 14 注意事項 (1) 学校部活動による参加の場合、チームの監督、コーチは、当該学校の教職員及び部活動指導員、もし
くは校長が委嘱した外部指導者とする。監督・コーチは、試合中みだりにベンチを離れてはならない。
(2) 試合は小雨決行とし、必ず両チームとも球場に集合すること。
(3) 降雨による試合中止は、主催者及び審判員の判定により決定する。途中で試合を停止した場合は、
期日を改めて継続試合とする。
(4) 応援団は選手の激励を旨とし、卑劣な応援は禁ずる。例えば、個人攻撃やバケツ等の使用はしない。
また、ベンチ内の選手が声を合わせて応援することはできない。
(5) 故意または過失により会場施設を破損した場合、そのチームで弁償すること。
(6) 不正行為のあったチームは失格とする。
(7) 試合中の抗議(審判員の判定が規則の適用を誤って下された時)は、監督に限る。
(8) 試合中、場外に出たボールは、攻撃側のチームで処理すること。
(9) ベースコーチは、ユニフォーム着用 of 選手に限る。(ヘルメット着用)
(10) ベンチは、原則、組み合わせ表の若番を1塁側とする。
(11) 試合中及び試合終了後、抗議等で激高のあまり、審判員及び役員、相手チームへの暴言・暴力は、直
ちにその選手の属するチームは失格とする(応援団を含む)。なお、そのチーム及び選手は今大会への
出場・参加は一切認めない。
(12) 次の試合を行うチームの監督と主将は、60分経過後に本部へメンバー表4部を提出すること。その
際、攻守決定を行う。
(13) 試合終了後直ちに、両チームで内野グラウンドを整備すること。
(14) ベンチ周りや応援席付近は、次のチームのために必ず清掃していくこと。
(15) 大会期間中に、修学旅行、集団宿泊教室、授業参観、研究発表会等の学校行事がある場合は、別途主
催者から配布される「第43回熊本市小・中学生軟式野球大会に伴う学校行事の調査について(回答)」
を提出すること。※学校のみ提出(クラブチームは提出不要)
※ 参加申込期日後および上記以外の行事については日程調整を行わない。
※ 日程調整の際、ご要望に沿えない場合がありますのでご了承ください。
(16) 申込書に記載された個人情報については、適切に管理し、本事業以外の目的で使用することはありません。
(17) 上記事項に定めのないものについては、主催者が協議のうえ決定する。
(18) プログラム印刷の関係上、添付の申込書以外は一切受け付けません。

《新型コロナウイルス感染防止対策》

各チームの代表者は、試合前に「感染防止対策チェックリスト」「健康チェックシート(監督・コーチ・選手用)」「応援者名簿」の3点を必ず提出してください。提出のないチームは不戦敗とします。